

# 飛 翔

校訓 躍動 責任 勤勉

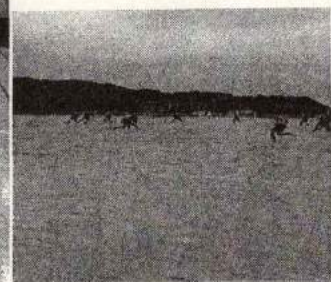
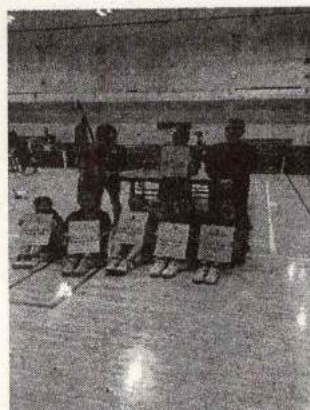
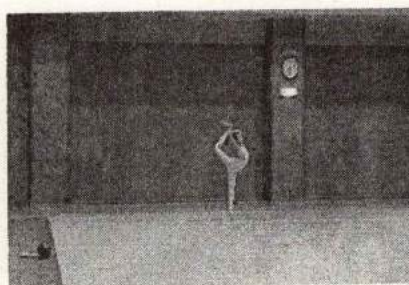
令和2年6月30日

文責 校長 坂口雄二

## 諫早市中総体！会期分散で始まる。

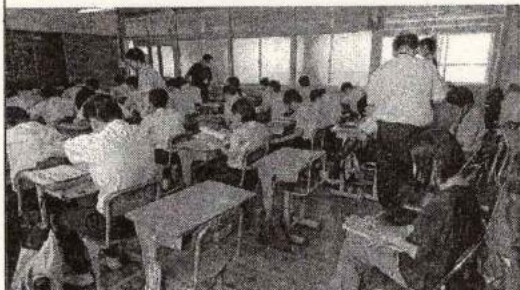
市中総体が武道と一部球技を残し実施（6月27～28日）されました。今年度は全国・九州・県大会が中止になり、市の大会が初めて最後の「中総体」となりました。練習の実施も苦労したかと思いますが、この大会を開催するにあたって、かなりの詳細な計画の元、対策が講じられました。そのおかげで開催に至ったこの年のことを私たちは忘れてはなりません。結果よりも、「見えない苦労をした方々に感謝する「中総体」であったかもしれません。観戦は3年生保護者のみ観戦ということになりました。皆さんに観戦してもらえないことは残念でいたしかたありませんでしたが、運営関係者の苦労は大変でした。しかし、そのような状況でも選手の皆さんがこれまでの集大成とした場が持てたことは意義があったものと確信します。一部、天候不良により、延期となっています。まだしばらく続きますが体調管理には万全を尽くしてほしいと願います。（下記に主な結果を載せています。後日HP等で詳細も報告します。その模様もご覧ください。）

- 陸上男子団体（6月21日実施） 優勝
- 陸上女子団体（同上） 優勝
- 新体操（6月24日実施）個人出場
- 野球 2回戦対諫早中 4対6 で敗退
- サッカー 対 真城中 2対5 で敗退
- バレー女子 対 北諫早中 1対2 で敗退
- 卓球男子団体 対 諫早中 1対3 で敗退
- 卓球女子団体 優勝 決勝で対 小長井中 に3-0 で完勝
- バスケット女子 対 諫早附属中 37対59 で敗退
- バスケット男子 対 諫早中 45対83 で敗退
- バドミントン男子 決勝 対諫早中 1-2 で敗退（準優勝）
- ソフトテニス女子 準決勝 対 諫早中 0対2で敗退（ベスト4）
- ソフトテニス男子 2回戦 対 喜々津中 0対3で敗退
- 水泳男子団体 準優勝
- 水泳女子団体 3位



## 授業研究会の様子：（3年英語の様子）

今年度は各同教科を主軸として学年の授業を他学年の先生方相互に意見交換し合っ  
て研修を深めています。生徒たちにとってより良い授業を追求します。



日	曜	行事予定
4	土	市中総体（硬式テニス・空手）
5	日	市中総体（ソフトテニス）
7	火	1学期期末テスト
9	木	総務専門部会
14	火	総務専門委員会
16	木	県学力調査（2・3年）生徒集会（放送）
19	日	家庭の日
20	月	終業式 大掃除
21	火	3年授業日（午前）～22日
30	木	登校日
31	金	二者・三者面談～8月7日

# 真津山小学校区 社協だより

第 41 号

令和2年7月15日  
発行  
真津山小学校区  
社会福祉協議会  
電話26-5579  
事務局25-0920



## 2020年度総会開催される

新型コロナウイルス感染の拡大を受けて、理事会での決議を受け本年度の総会は、書面決議による開催といたしました。

なお、総会に先立ち4月23日に久山公民館にて理事会を開催しました。理事会において、2019年度事業報告、2020年度事業計画について、審議を行い原案どおり承認されました。



## 2019年度事業実績

- ふれあいいきいきサロン
- 子育てサロン
- 花だより事業 花鉢配付
- 一人暮らし高齢者を励ます集い
- 子ども会との事業・話し合い
- 世代間交流
  - ・ おもしろ科学実験
  - ・ もちつき、グラウンド・ゴルフ、水鉄砲づくり、夏休みお楽しみ会等
- 真津山小1年生との昔遊び
- 一人暮らし高齢者給食サービス
- 広報紙発行

### 2020年度収支予算

収入の部	
前年度繰越	846,930
会費	313,900
活動助成金	890,760
その他	10
合計	2,051,600
支出の部	
納入金	313,900
事業費	880,000
その他	857,700
合計	2,051,600

### 2019年度収支決算報告

収入の部	
前年度繰越	923,520
会費	310,700
活動助成金	974,880
その他	100,530
合計	2,309,630
支出の部	
納入金	310,700
事業費	911,946
その他	240,054
合計	1,462,700
次年度繰越	846,930

## 2020年度事業計画

### ◆ 本年度の重点目標

◎ 校区社協事業として取り組む事業及び「高齢者一人暮らし」事業の充実(花だより・一人暮らし高齢者の集い・給食事業等)

### ◆ 通年目標

- ・ 校区住民へ校区社協のPR
- ・ ボランティアの発掘と活動の展開

### ◆ 主な活動計画

- 5月 定期総会(書面決議)
- 6月 第18回花だより事業
- 7月 第47回おもしろ科学実験  
第41号広報紙発行
- 10月 第48回おもしろ科学実験
- 11月 第24回一人暮らし高齢者を励ます集い
- 真津山小1年生との昔遊び
- 1月 第42号広報紙発行
- 3月 一人暮らし高齢者への給食サービス

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、事業の中止などもあります。ご了承ください。

## 理事・評議員の交代

役員及び理事・評議員の交代がありましたのでお知らせします。

### 監事

伊達政昭(久山台シニア会会長)  
本多 隆(若葉町)

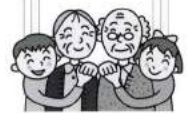
### 理事

松尾吉嗣(貝津町自治会長)  
市橋 晃(若葉町自治会長)  
吉岡数俊(久山町老寿会会長)  
高鍋 洋(真津山小学校校長)



理事会の様子

# コロナ禍でもできる事を、町のつながりをより強く



新型コロナウイルス感染の拡大に伴いさまざまな行事が中止となつていきます。

感染は心配ですが、怖がり過ぎないようにして、できることをやってみませんか。

町のコミュニティが本領を發揮するのは災害時。つまり台風や地震の際の食料の調達、被災者の避難所手配などにおいて



だと言われています。熊本の地震の際、「普段のつながりが濃い地域ほど避難所の運営がうまくいっていた」と言われています。新型コロナウイルスが日々感染拡大していく中で、町のつながりはその感染防止に非常に大きな役割を果たせるかもしれません。これまでの災害時と同じよう

に、やり方を工夫して感染症等によつて最も被害を受けた人々に食料、薬、そして慰めを提供することができるようです。町のつながりは、現在の危機によつて、以前よりも強くなつて続いていくことになるかもしれません。



保健師さんによる夏場の健康維持についての講話

真津山小学校区社会福祉協議会の事業だけではありません。少しでも参加してみませんか。

## サロンをお手伝いください

町内には、高齢者の方を対象とした「いきいきサロン」と乳幼児やその親を対象とした「子育てサロン」があります。

あなたの時間、ちよつとしたスキル、経験を提供されませんか。特別な資格ではなく、こんな時「私もできることがあるかもしれない」で結構です。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、お休みしておりますが、できる範囲で7月から始まるサロンもあります。

### ◎各町サロンの開催予定日

【いきいきサロン】

- 貝津町 — 第3火曜日
- 久山町 — 第3金曜日
- 久山台 — 第2火曜日
- 若葉町 — 第2火曜日
- 青葉台 — 第2土曜日

### 【子育てサロン】

- 貝津町 — 第1火曜日
- 久山町 — 第4火曜日
- 久山台 — 第3木曜日
- 青葉台 — 第2水曜日

## 登校中の児童・生徒にはようを

朝、登校中の子どもたちに出会いますか。

「おはよう」って声をかけてみられませんか。実は、そのひと声子どもたちに良い影響を与えます。



子どもたちの返事で、みなさんもきつともっと積極的で、前よりも前向きな気持ちになつていれると思います。

「三密」を避ける新しい生活様式の今だからこそ、ひと声で町が少しずつ変わると思っています。

# 一人暮らし高齢者への給食サービス

1月30日、令和元年度第1回の一人暮らし高齢者への給食サービスを行いました。第2回は、新型コロナウイルス感染症の活動自粛で中止でした。

中心となって作ってくださる婦人会の皆様ありがとうございます。皆様、秋以降のこの事業をお手伝いください。



# 花だより事業

諫早市よりいただいた花の苗を、真津山小学校校区社協の役員とボランティアで鉢植えしました。子ども会の協力を得て、一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、直接鉢植えをお渡ししています。この活動でも世代間の交流の輪が広がっています。

今年は6月26日〜28日に、子どもたちと校区社協役員と一緒に一人暮らしの高齢者約80人を訪問し、笑顔と一緒に鉢植えを手渡しました。



ボランティアの皆さんと一緒に鉢植えの準備中



# おもしろ科学実験

今年は7月11日と10月16日に第47回と第48回のおもしろ科学実験が開催されます。この事業は、本会の特徴の一つです。

最近、家庭科室に入りきれないほどの参加があります。7月は「三密」を避けるため、学校の配慮があり、体育館での開催となりました。



# ちよこつと運動のすすめ

スポーツ庁のホームページを見ますと、外出自粛等によって以下のような生活習慣の変化や体への影響が報告されています。



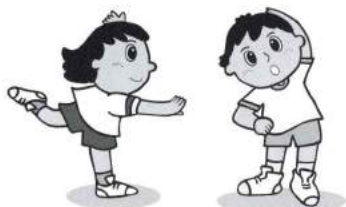
- ① 1日当たりの歩数が減少
- ② 体重が増加
- ③ 休校中に運動不足や生活リズムの乱れ、自宅学習の集中力が続かないこと等の訴え
- ④ テレワークによる「肩こり・腰痛」「目の疲れ」等の不調の訴えが増加
- ⑤ 座位時間が長くなることにより、血流の悪化や血栓ができるリスクが上昇

ならば、

- ・ 昨日よりも十歩多く歩く
- ・ ちよつとだけ爪先立ちをする
- ・ 椅子につかまって楽に少しだけ体を動かす

など

普段の生活に+(プラス)1を心がけませんか。



このQRコードからスポーツ庁HPPの内容をチェックできます

厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例を公表しました より

URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\_newlifestyle.html#h2\_1 (2020年7月1日時点掲載分)

### 「新しい生活様式」の実践例

#### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。  
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

#### (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 □咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） □身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



### 表彰 役員・民生委員が表彰されました

2月19日、諫早市社会福祉大会において表彰された4名の方を紹介します。

#### ○ 諫早市社会福祉協議会表彰

##### 【社会福祉団体役員】

並川 和則さん (貝津)

##### 【民生・児童委員】

大石 美恵子さん (若葉)

井手 加代子さん (久山)

赤島 猛さん (久山)

#### ○ 出口ボランティア表彰

##### 【奨励賞 個人の部】

井手 加代子さん (久山)

#### 表彰の理由

恵仁荘(有喜町)にて30年間入所者へのお化粧をボランティアで続けられた。

### 「井手加代子ボランティア」

#### ○ 30年間続いた理由は？

期間は意識していなかったですね。入所者の誕生日にお化粧をさせてもらって、その笑顔を見ていたらいつ

の間にか時間がたった感じですが、また、来年できたらいいですねとお話ししていました。してあげたのではなく、させていただいたのですね。私が一番お恵みを貰ったのかもしれないですね。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各種団体での活動やイベントは中止や延期となつていきます。こんな時こそ、地域のつながりが大切ではないでしょうか。

「三密」は感染予防のため避けたいですが、地域の絆の鍵ではあります。皆さんのお住まいの町で皆さんの力をお貸しください。

インタビュアーのお話にあった、「ボランティア活動することで、結局自分が一番恵みを貰ったのかもしれない」という部分は感動しました。

